

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成18年9月29日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

● **需要面**・・・個人消費は弱い動きとなっている。

大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を下回った。(7月)
用途別着工建築物工事金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、公共工事請負金額は前年を下回った。(8月)

● **産業面**・・・おおむね横ばいとなっている。

鉱工業生産指数が電気機械工業等の減により前月を下回った。(7月)

● **雇用面**・・・持ち直しの動きが緩やかになっている。

現金給与総額、所定外労働時間とも前年を下回った。(7月)
求人倍率は、新規、有効とも前月を下回った。(8月)

○ **需要面の動き**

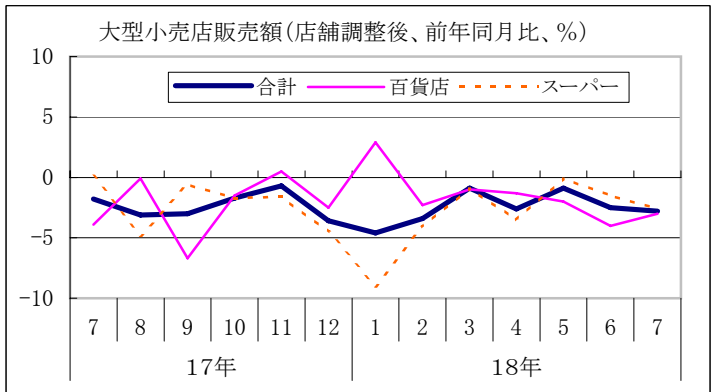
大型小売店販売額(7月)

全店舗の販売額は、58億5,652万円(前年同月比5.1%減)と12か月続いて前年を下回り、店舗調整後も3年10か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	585,652	▲5.1 (▲2.8)
百貨店	243,104	▲3.0 (▲3.0)
スーパー	342,548	▲6.4 (▲2.6)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(7月)

37億3,821万円(前年同月比0.8%減)と2か月続いて前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数(8月)

1,325台(前年同月比4.9%減)と2か月続いて前年を下回った。
これは、小型車が大幅に減少(前年同月比17.0%減)したことによる。

新設住宅着工戸数(8月)

239戸(前年同月比41.0%減)と2か月ぶりに前年を下回った。減少の内訳では、貸家の減少(前年同月比64.1%減)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(8月)

20億6,533万円(前年同月比70.8%増)と2か月ぶりに前年を上回った。用途別では、その他のサービス業用(前年同月比1276.7%増)等が前年を上回った。

公共工事請負金額(8月)

89億700万円(前年同月比14.4%減)と2か月ぶりに前年を下回った。発注者別の内訳では、市町村の減(前年同月比25.0%減)が大きな割合を占めた。

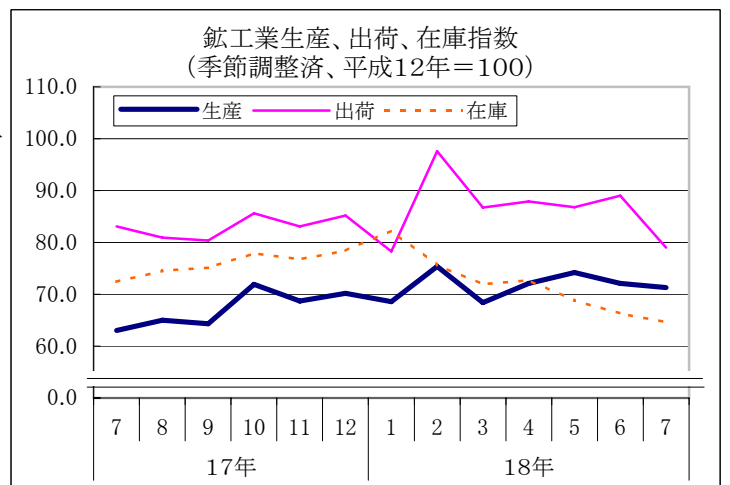
○ **産業面の動き**

鉱工業指数(7月)

生産指数(季節調整済)が71.3となり、前月比は1.1%低下し、原指数では69.2となり、前年同月比で13.3%上昇した。

内訳を前月比で見ると、電気機械が通信機械器具等の生産減により6.5%低下、食料品・たばこが8.0%低下、一般機械が69.1%上昇、繊維が8.3%低下した。

在庫指数(季節調整済)は64.6と前月比2.6%低下した。



大口需要電力実績(7月)

152,111千kwh(前年同月比2.2%増)と3か月続いて前年を上回り、鉱工業は全ての業種で増となり4.0%増加した。

青果物卸売量(8月、鳥取市場)

野菜が1,357t(前年同月比10.0%減)と10か月続いて前年を下回り、果実も1,206t(前年同月比7.0%減)と3か月続いて前年を下回った。

漁獲量(7月、境港)

3,970t(前年同月比29.6%減)と2か月続いて前年を下回った。

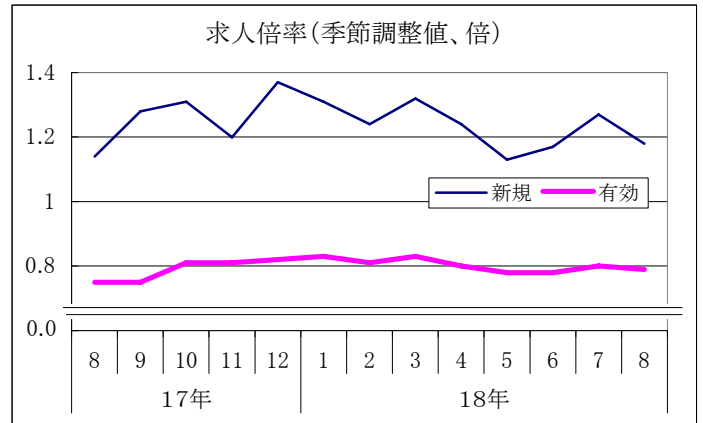
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(8月)

1.18倍(前月差0.09ポイント低下、前年同月差0.04ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、4,046人で前年同月比2.4%の減であった。

有効求人倍率(8月)

0.79倍(前月差0.01ポイント低下、前年同月差0.04ポイント上昇)と8年6か月続いて1.0倍を割っている。



現金給与総額(7月)

315,120円(前年同月比2.7%減)と6か月ぶりに前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、249,909円で3か月ぶりに前年を下回った。

所定外労働時間(7月)

8.6時間(前年同月比4.4%減)と2か月続いて前年を下回った。主力の製造業は11.3%減となった。実数による前年同月比では、教育、学習支援業(前年同月比200.0%増)等で前年を上回り、飲食店、宿泊業(前年同月比60.4%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(7月末)

預金残高は、1兆8,480億円(前年同月比1.4%減)と3か月続いて前年を下回り、貸出金残高は、1兆1,658億円(前年同月比0.8%増)と11か月続いて前年を上回った。

○参考

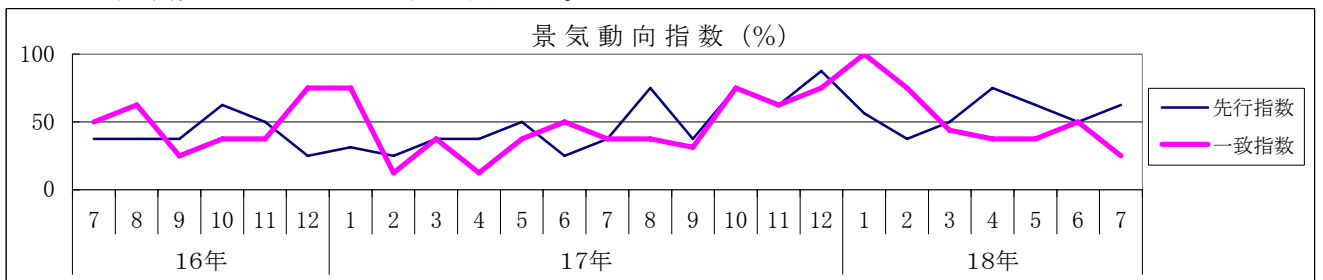
鳥取県景気動向指数(7月)

先行指数62.5%、一致指数25.0%、遅行指数40.0%となった。

先行指数は2か月ぶりに50%を上回った。

一致指数は2か月ぶりに50%を下回った。

遅行指数は2か月ぶりに50%を下回った。



企業倒産(8月)

件数は4件(前年同月比20.0%減)で8か月ぶりに前年を下回り、負債総額は14億7,000万円(前年同月比189.4%増)で2か月ぶりに前年を上回った。

消費者物価指数(8月、鳥取市、総合、平成17年=100)

100.0となり、前月比(0.9%上昇)は2か月ぶりに上昇し、前年同月比(0.1%上昇)も2か月ぶりに上昇した。

鳥取県の推計人口(9月1日現在)

604,525人で、前月と比べて50人(0.01%)増加し、前年同月と比べて2,858人(0.47%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成18年8月調査)

平成18年10～12月期は、平成18年7～9月期に比べると景気、売上高はやや好調であるが、経常利益は同程度の見通しとなっている。